



令和 6 年度

消防学校教育訓練計画



福岡県消防学校

目 次

1	福岡県消防学校の概要	1
2	消防学校の教育訓練の目的	4
3	教育の種別、教科目及び単位時間数	4
4	福岡県消防学校教育訓練体系	14
5	令和6年度に実施する教育種別及び期間	15
6	令和6年度入校経費	16
7	令和6年度消防職員教育別入校予定者数	17
8	令和6年度消防団員教育別入校予定者数	18
9	入校事務の手引き	
	(1) 消防職員教育	
	ア 第140回初任教育	20
	イ 専科教育	
	(ア) 第18回危険物科	23
	(イ) 第41回救急科	25
	ウ 幹部教育	
	(ア) 第17回初級幹部科 (A)	31
	(イ) 第53回初級幹部科 (B)	33
	(ウ) 第15回上級幹部科	35
	エ 特別教育	
	(ア) 第26回水難救助教育	37
	(イ) 第16回はしご自動車等教育	39
	(ウ) 消防操法指導員研修	41
	(エ) 第18回警防実務研修	43
	(2) 消防団員教育	
	ア 基礎教育	45
	イ 幹部教育	
	(ア) 第21回初級幹部科	47
	(イ) 指揮幹部科	
	a 第10回現場指揮課程	49

b 第10回分団指揮課程	51
(ウ) 第21回上級幹部科	53
ウ 特別教育	
(ア) 第15回女性消防団員研修	55
(イ) 消防団員特別研修	57
(3) 自衛消防隊等教育	
ア 自衛消防隊教育	58
イ 消防防災関係機関研修	59
(4) 自主防災組織等教育	
ア 地域防災力向上研修	59
イ 防災士研修	59
ウ 少年消防・女性防火クラブ教育	59
エ 消防・防災体験型研修	59
10 共通様式	
(1) 消防職員用	
ア 入校申込書(様式1)	60
イ 身上書(様式2)	61
ウ 事例研究資料(様式3)	62
(2) 消防団員用	
入校申込書(様式4)	63
(3) 自衛消防隊用	
入校申込書(様式7)	64
(4) 入校経費請求書(参考様式)	65
11 アクセス	
(1) 消防学校案内図	66
(2) 公共交通機関経路図	67

1 福岡県消防学校の概要

(1) 福岡県消防学校の設立趣旨

消防組織法第51条の規定に基づき、消防職員及び消防団員に消防の責務を正しく認識させるとともに、資質の向上、学術及び技能の修得、規律及び体力の向上を図り、もって人格の育成と技術の涵養に努め、その職務を遂行するにたる消防職員及び消防団員を養成することを目的として設立されたものである。

(2) 福岡県消防学校の沿革

昭和15年12月	福岡市因幡町の福岡県警察練習所内に「消防練習所」を設置
昭和16年5月	消防練習所第1回教習科生入校、教育を開始
昭和23年3月	自治体消防発足に伴い知事部局に移管、総務部内に「福岡県消防訓練所」を設置し、福岡県消防訓練所規程を制定。訓練所を福岡市西新町213番地の西福岡消防署内に移転し開校
昭和24年8月	「福岡県消防学校」と改称
昭和24年9月	九州知事会議で「九州地方消防学校」を併設、第1回消防幹部職員標準課程を開校
昭和25年1月	福岡県消防学校校友会発足
昭和28年7月	糟屋郡多々羅村2751番の37（現在の福岡市東区名島）に新築移転
昭和31年3月	機構改革に伴い消防学校の所管を民生部へ移管
昭和34年4月	消防学校校歌を制定
昭和38年3月	九州各県の消防学校整備充実に伴い「九州地方消防学校」を廃止
昭和41年3月	消防学校校訓を制定
昭和41年5月	広域常備消防発足に伴い「派遣教官」制度を開始
昭和48年11月	宗像郡福岡町字北原4560番地の2（現在の福津市西福岡）に新築移転
昭和53年6月	訓練補助塔を建設
昭和53年11月	消防殉職者慰霊碑を校内に建立
昭和54年3月	沖縄県消防学校と姉妹校の協定を締結
昭和59年11月	福岡県消防学校教育研究会を発足
昭和62年4月	女性消防職員入校に伴う庁舎の一部改築
平成3年6月	宿泊棟に冷暖房設備を設置
平成4年9月	機構改革に伴い消防学校の所管を総務部へ移管
平成11年3月	教育棟の冷暖房設備の全面改修
平成16年4月	「消防学校教育訓練の基準」の全面改正に伴い「福岡県消防学校規則」を改正
平成17年2月	救急研修室を新設
平成18年4月	女子宿泊棟を新設
平成29年4月	嘉麻市牛隈1794番地（旧嘉穂工業高等学校跡地）に新築移転

(3) 施設の概要

所在地 〒820-0301 福岡県嘉麻市牛隈^{かましうしくま}1794番地

敷地面積 83,736 m²

建築面積 8,571 m²

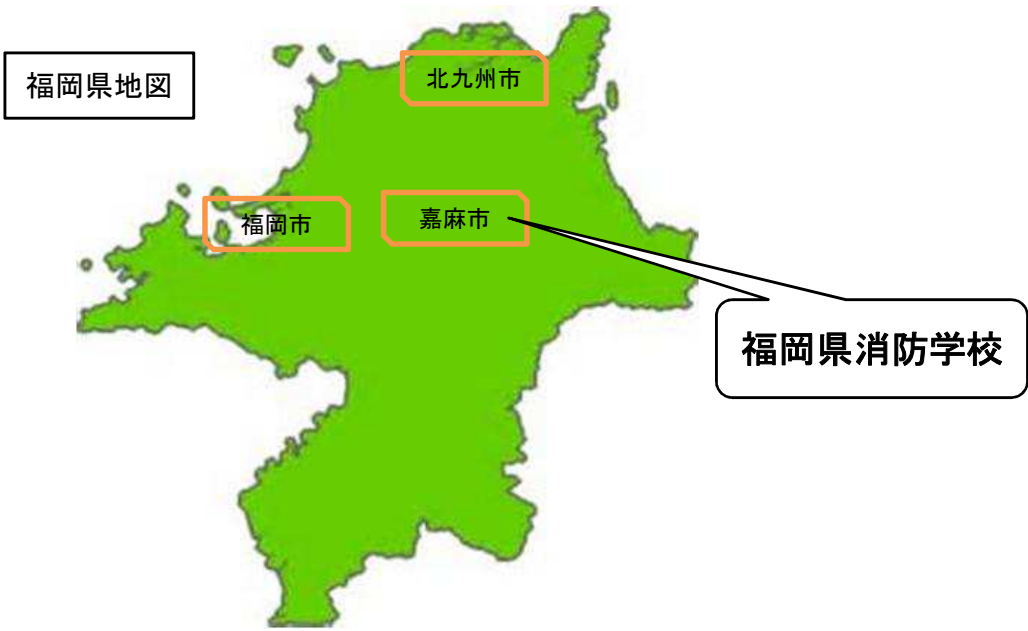
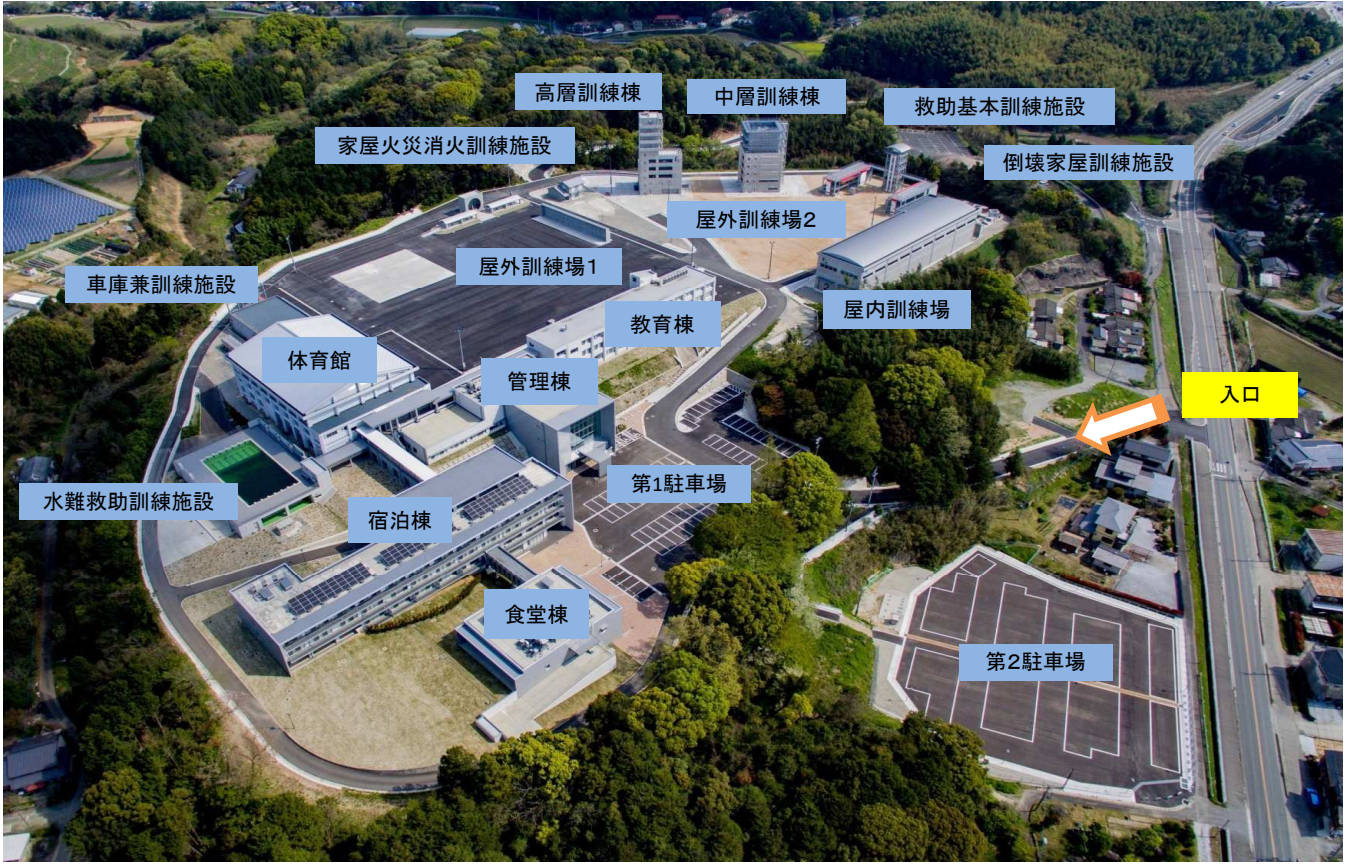
建築延面積 16,158 m²

収容人員 150名（うち女子寮15名）

主な施設

名称	構造	規模	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)
管理棟	RC造	4階建	1,166	1,907
教育棟	RC造	3階建	664	2,013
体育館	RC造	2階建	1,417	2,359
宿泊棟	RC造	5階建	1,550	3,876
食堂棟	RC造	2階建	502	543
高層訓練棟	RC造	10/1階建	228	1,347
中層訓練棟	RC造	5階建	220	908
屋内訓練場	RC造	2階建	1,241	1,434
救助基本訓練施設	S造	6階建	354	528
車庫兼訓練施設	RC造	平屋建	611	576
水難救助訓練施設	RC造	2階建	387	410
	プール：FRP製 25m×13m水深1.5m・3m・5m			
家屋火災消火訓練施設	S造	2階建	94	119
倒壊家屋訓練施設	スペース：10m×20m コンクリートブロック等配置			
屋外訓練場1	アスファルト舗装9,836m ² 消火栓、防火水槽、放水壁設置			
屋外訓練場2	真砂土舗装6,726m ² 消火栓、防火水槽設置			
第1駐車場	収容台数 85台			
第2駐車場	収容台数108台			

福岡県消防学校施設配置



2 消防学校の教育訓練の目的

社会情勢の変化や技術の発展に的確に対応するために、住民から期待される水準を充たす消防防災に係る知識及び技能の効率的かつ効果的な修得を図り、もって適切公正、安全かつ能率的に業務を遂行できるよう消防職員、消防団員等の資質を高めることを目的とする。

3 教育の種別、教科目及び単位時間数

(1) 消防職員に対する教育

ア 初任教育

新たに採用された消防職員の全てに対して行う基礎的教育訓練をいい、卒業後、直ちに警防隊員として活動できる職員を養成する。

教科目及び単位時間数					
基礎教育	倫理	5	実務教育	防災	23
	法学基礎・消防法	20		救急	50
	消防組織制度	9		消防機械・ポンプ	10
	サービスと勤務	28			
	理化学	10			
実務教育	予防広報	20	実科訓練	訓練礼式	50
	危険物	8		消防活動訓練	82
	消防用設備	12		救助訓練	45
	査察	27		機器取扱訓練	55
	建築	10		消防活動応用訓練	85
	安全管理	16	その他	体育	55
	特殊災害と保安	10		実務研修	35
	火災防ぎよ	30		選択研修	40
	火災調査	15		行事その他	50
				合計	800

※毎年実施「入校事務の手引き20ページ」

イ 専科教育

現任の消防職員に対して行う特定の分野に関する専門的教育訓練をいう。

(ア) 特殊災害科

各級指揮者として、多数の傷病者を発生させるおそれが高く、消防活動に困難を伴う災害現場において、特に隊員の安全管理に配慮しつつ、適切、効果的な消防戦術を指揮できる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	図上訓練	7
特殊災害の概論	2	効果測定	2
危険性物質等に係る基礎知識及び関係法令	15	行事その他	1
特殊災害に対する消防活動要領	16		
特殊災害における安全管理	5	合計	49

※令和6年度実施予定なし

(イ) 予防査察科

予防・査察業務に関する専門的知識及び技能を修得し、厳正で公正な査察及び重大な違反対象物に対する是正指導、法令に基づく権限行使が行える職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	査察・違反処理実習	8
予防査察行政の現状と課題	1	事例研究	6
消防同意	6	効果測定	2
査察	24	行事その他	1
危険物規制	7		
違反処理	14	合計	70

※令和6年度実施予定なし

(ウ) 危険物科

危険物施設の許認可、規制等に係る専門的知識を修得し、これらの知識を適切に活用して、必要な危険物行政事務を的確に処理できる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	事例研究	4
危険物行政の現状と課題	2	効果測定	1
危険物化学	5	行事その他	1
危険物規制	21	合計	35

※令和6年度実施「入校事務の手引き23ページ」

(エ) 火災調査科

火災原因調査に係る専門的知識及び技能を修得し、これらの知識を適切に活用して火災調査業務を的確に遂行できる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	調査書類	14
原因調査関係法規	6	事例研究	6
原因調査	25	効果測定	2
損害調査	6	行事その他	1
鑑定	2		
調査実習	7	合計	70

※令和6年度実施予定なし

(オ) 救急科

救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な観察・判断能力、応急処置に必要な専門的スキルを修得し、救急隊員として活動できる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
救急業務及び救急医学の基礎	50	特殊病態別応急処置	25
応急処置の総論	73	行事その他	23
病態別応急処置	67	合計	238
		消防本部における同乗実習、病院実習	28
		総合計	266

※毎年実施「入校事務の手引き25ページ」

(カ) 救助科

救助活動に係る最新の専門的知識及び専門的で高度な技能、技術を修得し、救助隊員として活動できる隊員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	総合訓練	30
安全管理	21	健康管理	3
災害救助対策	23	効果測定	5
救急	5	行事その他	1
救助器具取扱訓練	21		
救助訓練	30	合計	140

※令和6年度実施予定なし

ウ 幹部教育

幹部（消防士長以上の階級にある者をいう。）及び幹部昇任予定者に対して行う消防職員幹部として一般的に必要な教育訓練をいう。

(ア) 初級幹部科 (A)

消防士長に対し、分隊長（小隊長）として必要な業務管理や現場指揮要領を修得し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数
講話	1	安全管理 3
消防時事	2	現場指揮訓練 16
人事管理業務	6	行事その他 4
現場指揮要領	3	合計 35

※毎年実施「入校事務の手引き 3 1 ページ」

(イ) 初級幹部科 (B)

消防司令補に対し、初級幹部として、旺盛な職務遂行の意欲にあふれ、消防行政の現状や課題を理解し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数
講話	1	安全管理 10
訓練礼式	2	現場指揮 18
消防時事	8	事例研究 15
消防財政	3	行事その他 1
人事業務管理	12	合計 70

※毎年実施「入校事務の手引き 3 3 ページ」

(ウ) 中級幹部科

原則として消防司令に対し、中級幹部として、消防行政の動向を理解するとともに、迅速かつ的確な意思決定により、上司の補佐及び部下の指揮監督を行い、組織を管理運営できる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数
講話	1	安全管理 5
訓練礼式	1	現場指揮 10
消防時事	4	事例研究 15
消防財政	2	行事その他 1
人事業務管理	10	合計 49

※令和 6 年度実施予定なし

(エ) 上級幹部科

原則として消防司令長以上に対し、上級幹部にふさわしい業務管理、人事管理、危機管理に必要な知見を備え、かつ、職務遂行に必要な水準の判断力を有し、組織全体を円滑に管理運営できる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
管理職の役割	2	事例研究	8
業務管理	3	行事その他	1
人事管理	4		
危機管理	3	合計	21

※令和6年度実施「入校事務の手引き35ページ」

エ 特別教育

初任教育、専科教育、幹部教育以外で、特別の目的のために行うものをいう。

(ア) 水難救助教育

潜水救助に必要な知識技術を修得するとともに、潜水士免許を取得し、多発する水難事故等に際し、迅速確実に対応できる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	応用訓練	12
潜水理論（安全管理含む）	21	総合訓練	5
潜水基本訓練	12	潜水士免許試験	7
溺者救助訓練	3	行事その他	5
水難救助器具取扱訓練	4	合計	70

※令和6年度実施「入校事務の手引き37ページ」

(イ) はしご自動車等教育

はしご自動車等の操作員として必要かつ基本的な安全知識、取扱操作技術等を修得し、はしご自動車等の安全運行ができる職員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
安全管理	3	はしご自動車等の点検・整備	2
取扱基本理論、特殊装置の構造	3	効果確認	1
はしご自動車等の基本取扱操作	5	行事その他	9
はしご自動車等の応用取扱訓練	3		
はしご自動車等の故障と対策	2	合計	28

※令和6年度実施「入校事務の手引き39ページ」

(ウ) 消防操法指導員研修

消防ポンプ操法の指導員として必要な知識技術を修得し、消防団員に対し、効果的にポンプ操法の指導が行える職員を養成する。

教 科 目 単 位 時 間 数	
操法実技指導要領	10
行事その他	3
合計	13

※令和6年度実施「入校事務の手引き41ページ」

(エ) 警防実務研修

消防士及び消防副士長に対し、火災防ぎょを中心とした実科訓練を実施することにより、隊員としての防ぎょ活動及び機関運用能力を備えた職員を養成する。

教 科 目 及 び 単 位 時 間 数			
講話	1	想定訓練（立体的防ぎょ訓練）	7
プレテスト	1	想定訓練（火災防ぎょ総合訓練）	13
消防ポンプ理論・ポンプ運用	4	行事その他	3
機器取扱基本訓練	3		
火災防ぎょ基本訓練	3	合計	35

※毎年実施「入校事務の手引き43ページ」

(オ) 水難救助実務研修

水難救助に必要な安全知識、潜水技術等を取得し、安全確実に迅速に活動できる隊員を養成する。

教 科 目 及 び 単 位 時 間 数			
安全管理	3	応用訓練	8
潜水基本訓練	8	総合訓練	5
水難事故対策	3	行事その他	5
水難救助対策	3	合計	35

※令和6年度実施予定なし

(2) 消防団員に対する教育

ア 基礎教育

任命後経験年数の短い消防団員に対して行う基礎的教育訓練をいい、消防団員として基本的な知識技術を修得し、効果的な消防活動ができる消防団員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数
組織制度	1	消防操法 1
訓練礼式	3	行事その他 1
		合計 6

※毎年実施 「入校事務の手引き 4 5 ページ」

イ 専科教育

現任の消防団員に対して行う特定の分野に関する専門的教育訓練をいう。

(ア) 警防科

火災防ぎょ、自然災害及び大規模災害等における消防団の役割と活動要領等について修得し、効果的な消防活動ができる消防団員を養成する。

教科目及び単位時間数（消防学校で実施分）		教科目及び単位時間数（市町村で実施分）	
講話	0.5	講話	0.5
火災防ぎょ（学科）	2	火災防ぎょ（実技）	4
防災	1	防災	1
安全管理	2	行事その他	0.5
行事その他	0.5		
合計	6	合計	6

※休止中

(イ) 機関科

道路交通関係法令及びポンプ工学に関する専門的知識を修得し、消防自動車を迅速・的確に運行できる消防団員を養成する。

教科目及び時間数（消防学校で実施分）		教科目及び時間数（市町村で実施分）	
講話	0.5	講話	0.5
道路交通関係法規	1	緊急走行要領	1
緊急走行要領	1	ポンプ運用（実技）	3
ポンプ運用（学科）	2	機関整備（実習）	1
機関整備	1	行事その他	0.5
行事その他	0.5		
合計	6	合計	6

※休止中

ウ 幹部教育

幹部（主として班長以上の階級にある者をいう。）に対して行う消防団幹部として一般的に必要な教育訓練をいう。

(ア) 初級幹部科

班長に対し、火災防ぎょ活動、現場指揮要領を修得するとともに、自然災害の防災対策に関する知識と住民に対する防災指導要領を学び、上司を補佐し、効果的な消防活動を指導できる初級幹部団員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	防災指導要領	1
訓練礼式	1	安全管理	2
現場指揮	4	行事その他	1
防災	1		
ドローンを活用した災害情報収集伝達要領	1	合計	12

※毎年実施「入校事務の手引き 47 ページ」

(イ) 指揮幹部科

各種災害発生時における部隊の管理運営及び安全管理知識等を修得し、効果的な消防活動を監督できる指揮者を養成する。

a 現場指揮課程

原則として部長に対し、災害時における火災防ぎょ、水災活動、救助救命、避難誘導、情報収集・伝達に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識並びに技術を修得するとともに、自主防災組織に対して防災指導を行える指揮者を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	ドローンを活用した災害情報収集伝達要領	1
火災防ぎょ訓練	2	地域防災指導訓練	1
水災活動要領	1	行事その他	1
救助・救命訓練	4		
避難誘導要領	1	合計	12

※毎年実施「入校事務の手引き 49 ページ」

b 分団指揮課程

分団長又は副分団長に対し、各種災害発生時における分団の管理運営及び効果的な現場活動の在り方を深く理解する指揮者を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	行事その他	1
災害図上訓練（ドローンの優位性含む）	2	※事前学習	4
事例研究	2	合計	10(うち 4H 事前学習)

※毎年実施「入校事務の手引き 51 ページ」

(ウ) 上級幹部科

団長及び副団長に対し、消防団組織の運営管理及び自然災害や大規模災害等の対応を修得するとともに、効果的な消防団活動を管理することができる上級幹部団員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
講話	1	現場指揮と安全管理	1
危機管理	2	行事その他	1
防災（ドローンの優位性含む）	1	合計	6

※毎年実施「入校事務の手引き 5 3 ページ」

エ 特別教育

基礎教育、専科教育、幹部教育以外で、特別の目的のため行うものをいう。

(ア) 女性消防団員研修

女性消防団員に対し、防火防災に関する基本的知識及び初期消火・救命処置技術を修得し、地域の安全・安心に寄与できる団員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
消防制度・防災	1	救急	1
予防広報	2	行事その他	1
訓練礼式	1	合計	6

※毎年実施「入校事務の手引き 5 5 ページ」

(イ) 消防操法研修

消防ポンプ操法に関する知識技術を修得し、消防ポンプ操法を指導するとともに実践できる消防団員を養成する。

教 科 目 及 び		単 位 時 間 数	
消防操法	2	訓練礼式	1
ポンプ自動車操法	4	行事その他	1
小型ポンプ操法	4	合計	12

※令和 6 年度実施予定なし

(ウ) 特別研修

消防団員に対し、消防防災活動に必要な知識技術を修得するための研修を行う。

※入校予定の消防団と協議の上、教科目及び時間数を決定する。

※随時受付「入校事務の手引き 5 7 ページ」

(3) 自衛消防隊等に対する教育

ア 自衛消防隊教育

県内の各事業所等内で編成された自衛消防隊及び自衛防災要員に対し、消防防災活動に必要な知識技術を修得するための教育訓練を行う。

教 科 目 及 び 単 位 時 間 数	
防火管理	2
火災対応訓練	3
行事その他	1
合計	6

※毎年実施「入校事務の手引き 58 ページ」

イ 消防防災関係機関研修

消防防災関係機関の職員に対し、消防・防災に関する知識技術を修得するための研修を行う。

※入校予定の団体と協議の上、教科目及び時間数を決定する。

(4) 自主防災組織等に対する教育

ア 地域防災力向上研修

自主防災組織や婦人会、小中学校等に対し、災害時の初動対応を行う上で必要な知識や技術を教授し、防災意識の普及を図るための研修を行う。

イ 防災士研修

地域で活動する防災士に対し、地域の減災と防災力向上のために必要な知識や技術を修得するための研修を行う。

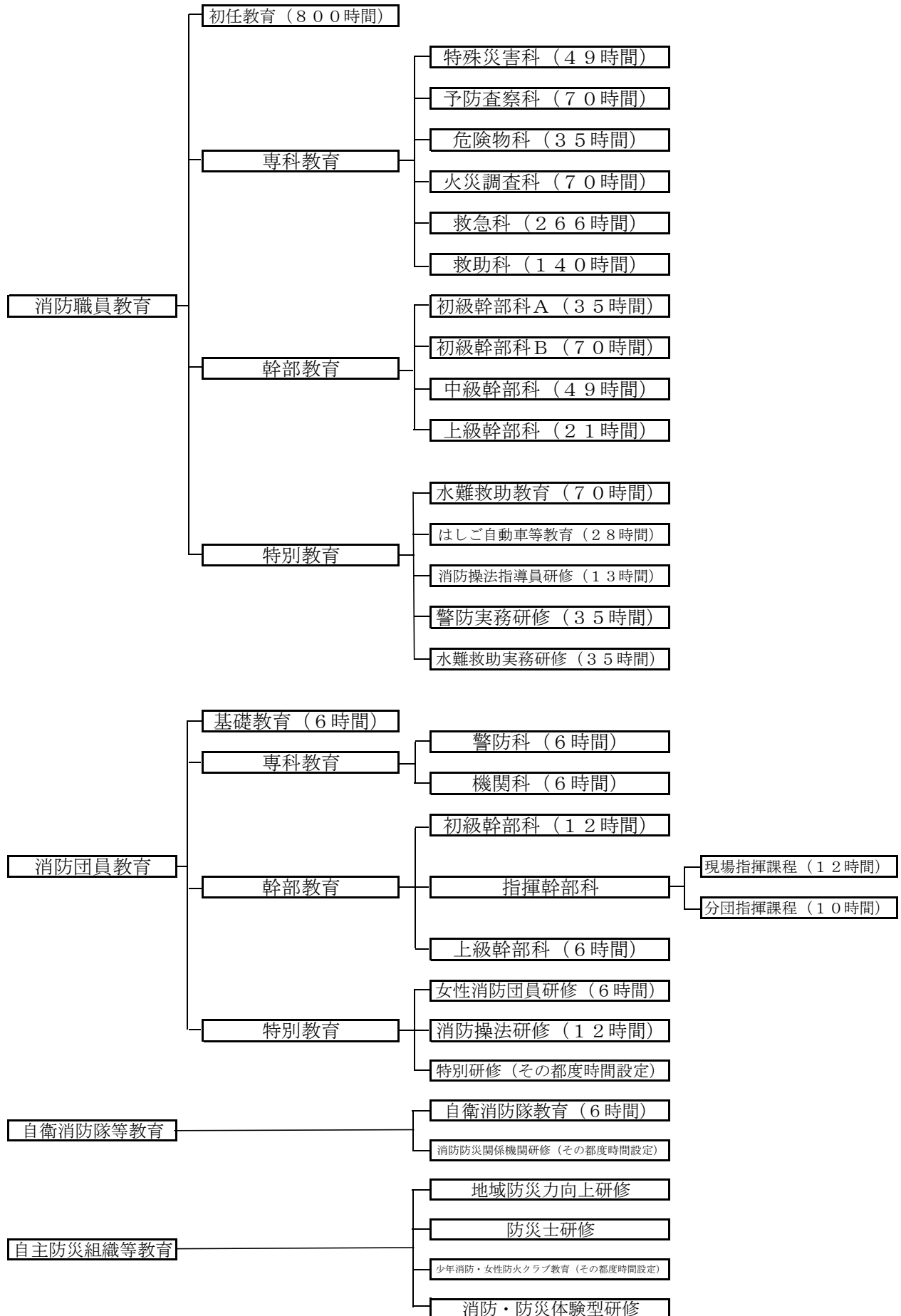
ウ 少年消防・女性防火クラブ教育

少年消防クラブ員及び女性防火クラブ員に対し、防火クラブ活動に必要な知識技術を修得するための教育訓練を行う。

エ 消防・防災体験型研修

学生等に対し、消防、防災、応急手当等の教育訓練を通して、消防・防災に関する興味と理解を深め、消防団及び自主防災組織の一員として活躍する人材育成を図るための研修を行う。

4 福岡県消防学校教育訓練体系



5 令和6年度に実施する教育種別及び期間

教育名		教育日程											備考		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	
消防職員	第140回初任教育		4 ←					→ 19							115日(800時間)
	専科教育	第18回危険物科									11 17				5日(35時間)
		第41回救急科									14 ←		→ 4		34日(238時間)
	幹部教育	第17回初級幹部科(A)								28 1					5日(35時間)
		第53回初級幹部科(B)									18 29				10日(70時間)
		第15回上級幹部科				18 20									3日(21時間)
	特別教育	第26回水難救助教育							25 8						10日(70時間)
		第16回はしご自動車等教育									12 15				4日(28時間)
		消防操法指導員研修			22 23										通学2日(13時間)
		第18回警防実務研修								16 22					5日(35時間)
消防団員	基礎教育		14 福岡・筑後 21 北九州・筑豊											各1日(6時間) 日	
	幹部教育	指揮幹部科	第21回初級幹部科							8 9				2日(12時間) 金・土	
			第10回現場指揮課程							11 12				2日(12時間) 金・土	
			第10回分団指揮課程								24				1日(6時間) 平日
	第21回上級幹部科				12									1日(6時間) 平日	
	特別教育	第15回女性消防団員研修							13						1日(6時間) 平日
		消防団員特別研修		← 随時受付											→ 原則、現地教育
自衛消防隊等	特別教育	自衛消防隊教育									3 5			第1回特定 第2回危険物 1日(6時間) 平日	
		消防防災関係機関研修		← 随時受付											→
自主防災組織等	特別教育	地域防災力向上研修		← 随時受付										→	
		防災士研修		← 随時受付											→
		少年消防・女性防火クラブ研修		← 随時受付											→
		消防・防災体験型研修		← 随時受付											→

6 令和6年度入校経費

教育名		食費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合計		備考 (教育日数)		
		宿泊者	通学者				宿泊者	通学者			
消防職員	初任教育		145,100	/	84,920	97,380	30,300 <small>うち通学用バス代16,368</small>	357,700	/	115日	
	専科教育	危険物科	5,750	2,750	17,920	4,730	1,100	29,500	25,400	5日	
		救急科	42,830	17,830	43,560	5,800	4,400	96,590	67,190	34日	
	幹部教育	初級幹部科(A)		6,600	2,600	16,620	/	1,100	24,320	19,220	5日
		初級幹部科(B)		13,350	5,350	18,830	5,940	1,650	39,770	30,120	10日
		上級幹部科		3,560	1,560	11,930	/	1,100	16,590	13,490	3日
	特別教育	水難救助教育		12,350	5,350	42,030	9,900	1,650	65,930	57,280	10日
		はしご自動車等教育		5,230	2,230	12,010	6,940	1,100	25,280	21,180	4日
		消防操法指導員研修		/	/	1,060	/	/	/	1,060	2日
		警防実務研修		5,600	2,600	13,820	/	1,100	20,520	16,420	5日
消防団員	基礎教育		/	/	2,420	/	/	/	2,420	1日	
	幹部教育	初級幹部科		2,040	1,040	3,680	/	1,100	6,820	4,720	2日
		指揮幹部科	現場指揮課程	2,040	1,040	6,650	/	1,100	9,790	7,690	2日
			分団指揮課程	/	520	5,890	/	/	/	6,410	1日
	上級幹部科		/	520	4,240	/	/	/	4,760	1日	
	特別教育	女性消防団員研修		/	520	3,350	/	/	3,870	1日	
その他	特別教育	自衛消防隊等教育		/	520	5,700	/	/	6,220	1日	

(注)「令和6年度に実施する教育種別及び期間」の表中「消防団員特別研修」「消防防災関係機関研修」「少年消防・女性防火クラブ教育」の入校経費額は協議の上、その都度決定する。

7 令和6年度消防職員教育別入校予定者数

教育種別 消防本部名	第140回 初任教育		第18回 危険 物科	第41回 救急科		第17回 初級幹部科(A)		第53回 初級幹部科(B)	第15回 上級幹部科	第26回 水難救助教育	第16回 はしご自動車等教育	消防操法指導員研修	第18回 警防実務研修	入校希望者 総数
	総数	うち女性		総数	うち女性	総数	うち女性							
1 北九州市	17	1		17	1	2		2				8		46
2 福岡市						35	1					4		39
3 大牟田市	6	2		5	1	3		1					3	18
4 直方市	5		1	5		2		2		2	1	2	2	22
5 柳川市	2		2	2		2		2		2		2	1	15
6 筑後市	2		1	2		1		1		2	1	2	1	13
7 行橋市	1		1	1		2				2	2	2	2	13
8 中間市	4	1	1	3	1									8
9 みやま市			2			2		2		1		2	2	11
10 糸島市	5	1	3	5	1	1		1	1	3	3	3	1	26
11 苅田町	1		1	1						2		2		7
12 八女	2		1	2		1						3	1	10
13 筑紫野太宰府	6		1	6		2		2	1	3	3	2	2	28
14 飯塚地区	2	1	1	6	1	1		1	1	3	1	2	1	19
15 春日・大野城・ 那珂	5		1	4		3		3		3	3	3	3	28
16 田川地区	2		1	2		1		1	1	2	1	3	2	16
17 久留米広域	14	1	1	13		1		1	1		3	10	1	45
18 京築広域圏	2		1	2		2		2	1	2		2	2	16
19 直方・鞍手広域	2		1	2		2		1		2	1	1	1	13
20 甘木・朝倉	5	2	1	5	2	1				1		3	2	18
21 粕屋南部	11		1	6		1		1	1		2	3	2	28
22 宗像地区	4		1	2		2		2		2	2	2	2	19
23 粕屋北部	2		1	3		1		1	1	1	1	3	1	15
24 遠賀郡			1			1		1		2	1	3	2	11
合計	100	9	25	94	7	69	1	27	8	35	25	67	34	484

8 令和6年度消防団員教育別入校予定者数

番号	消防団名	基礎教育	初級幹部科	現場指揮課程	分団指揮課程	上級幹部科	女性団員研修	特別研修	合計
1	北九州市消防団		7	7	7				21
2	福岡市消防団								0
3	大牟田市消防団		2	2	2	1	2		9
4	久留米市消防団		5	10	5	2	3		25
5	直方市消防団	10	2	2	2	1	3		20
6	飯塚市消防団	31			5		4		40
7	田川市消防団								0
8	柳川市消防団			3	3	2	2		10
9	八女市消防団								0
10	筑後市消防団				2		2		4
11	大川市消防団	30			3				33
12	行橋市消防団		2	2	2	2			8
13	豊前市消防団						3		3
14	中間市消防団		2						2
15	小郡市消防団	30			2	1	1		34
16	筑紫野市消防団		2	2	2		1		7
17	春日市消防団		5		5	2	2		14
18	大野城市消防団		3		3		2		8
19	宗像市消防団	30			5				35
20	太宰府市消防団				3	1	1		5
21	古賀市消防団	12				1			13
22	福津市消防団	20				3	3		26
23	うきは市消防団			5	5				10
24	宮若市消防団	20							20
25	嘉麻市消防団	30		2	2	1			35
26	朝倉市消防団			5					5
27	みやま市消防団				5	2			7
28	糸島市消防団				3	2	2		7
29	那珂川市消防団			4	4	1	2		11
30	宇美町消防団	15				1			16
31	篠栗町消防団	20				1	4		25
32	志免町消防団	10				1			11
33	須恵町消防団	25				1			26
34	新宮町消防団	15				1			16
35	久山町消防団	20				1			21

番号	消防団名	基礎教育	初級幹部科	現場指揮課程	分団指揮課程	上級幹部科	女性団員研修	特別研修	合計
36	粕屋町消防団	15				1	5		21
37	芦屋町消防団	6	1	1	2	2			12
38	水巻町消防団	5	4		2	1			12
39	岡垣町消防団	5	1	1	1	1	1		10
40	遠賀町消防団	6	3	3	3				15
41	小竹町消防団	6							6
42	鞍手町消防団	6							6
43	桂川町消防団	10							10
44	筑前町消防団		5	5	3	1	5		19
45	東峰村消防団		6						6
46	大刀洗町消防団			4	5	1	2		12
47	大木町消防団				2		2		4
48	広川町消防団								0
49	香春町消防団	6	2	2	1				11
50	添田町消防団	10	5	3	3	2	2		25
51	糸田町消防団								0
52	川崎町消防団	10	5		5		5		25
53	大任町消防団								0
54	赤村消防団	3			2		1		6
55	福智町消防団				3				3
56	荊田町消防団				2				2
57	みやこ町消防団								0
58	吉富町消防団								0
59	上毛町消防団								0
60	築上町消防団		5	5	5	3	5		23
合計		406	67	68	109	40	65	0	755

9 入校事務の手引き

教 育 名	消防職員第140回初任教育
教 育 の 目 的	新たに採用された消防職員のすべてに対して基礎的教育訓練を行い、卒業後、直ちに警防隊員として活動できる職員を養成する。
教 科 目 及 び 教 時 間	4ページを参照してください。
教 育 対 象 者	新規採用者又は未修了の者
教 育 訓 練 期 間	令和6年4月4日(木)～令和6年9月19日(木) (実日数115日間)
入 校 受 付 日 時、場 所 及 び 服 装	令和6年4月4日(木) 10時～10時30分 受付：体育館2階 服装：制服・制帽・黒短靴
入 校 式 日 時	令和6年4月4日(木) 11時～12時
携 行 品	□白手袋□活動服□略帽□防火衣一式(防火衣、防火帽、防火靴、防火手袋) □安全帯□保安帽□編上靴□革手袋□スリンググローブ(4.5m) □カラビナ□電卓□定規□運動靴(屋内用・屋外用・体育館用) □スポーツウエア□上履用サンダル□洗面用具類□着替え□印鑑□筆記具類・ノート □水防服□登下校に着用する服(公務員らしい服装)
通 学 の 可 否	不可(平日は校内宿泊)
登 下 校 時 間 の 登 借 の 利 便	①借上バスの利用 JR桂川駅から消防学校まで借上バスを利用することができます。 ②自家用車の利用 登下校に自家用車を利用することができます。 ③手続き いずれの利用にあっても、所属消防本部に事前に相談をしてください。 なお、必要な手続きは入校後行うこととなります。 注)「入校初日については借り上げバスの運行はありません」
前 泊 希 望	前泊(登校日の前日に消防学校に宿泊すること)を希望する場合は、入校後手続きを行うこととなります。 なお、特別な場合を除いて、入校期間中変更することはできません。また、前泊日の夕食及び翌日の朝食はありません。
効 果 測 定	入校期間中に効果測定(筆記及び実科)を実施します。
そ の 他	活動服にゼッケンを取り付けてください。 作成要領は22ページを参照してください。

入校申込み要領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。				
提出書類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）					
提出期間	令和6年2月1日（木）～令和6年2月29日（木）					
入校者の決定	入校申込み受け付け後、入校者を決定しその旨を通知します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。					
入校経費の納入方法	<p>入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。 また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考にしてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンシヨウホクガクシヨウムカチヨウ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p> </div>					
入校経費額 (円)	食費	図書教材費	調査研究費	共益費	合計	
	145,100	84,920	97,380	30,300	357,700	
	食費の内訳：朝食410円×87食 昼食520円×104食 校外研修弁当代670円×6食 夕食590円×87食					
入校決定通知後の入校取消し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。					

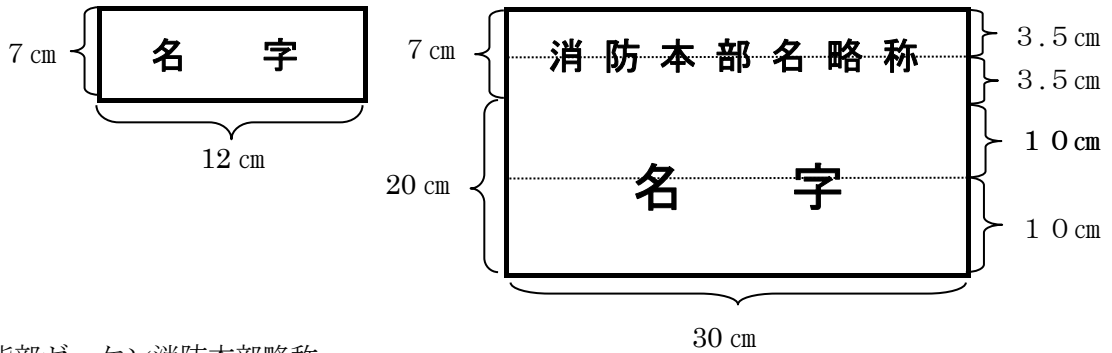
消防職員初任教育学生用ゼッケン作成要領

(1) ゼッケンの布地は白色とし、記入については黒字で次のとおりとします。

ア 胸部ゼッケン

イ 背部ゼッケン

※字の太さ(幅)は10mm以上



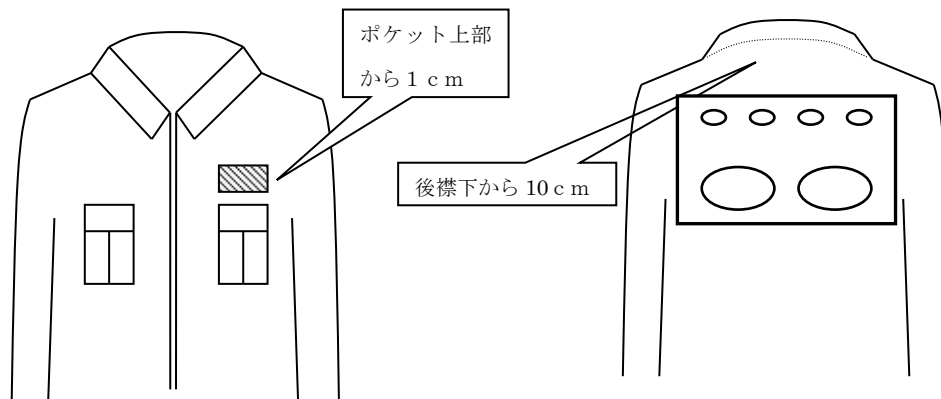
背部ゼッケン消防本部略称

消 防 本 部 名	略 称	消 防 本 部 名	略 称
北九州市消防局	北九州	飯塚地区消防本部	飯塚
大牟田市消防本部	大牟田	春日・大野城・那珂川消防本部	春大那
直方市消防本部	直方	田川地区消防本部	田川
柳川市消防本部	柳川	久留米広域消防本部	久留米
筑後市消防本部	筑後	京築広域圏消防本部	京築
行橋市消防本部	行橋	直方・鞍手広域消防本部	直鞍
中間市消防本部	中間	甘木・朝倉消防本部	甘木朝倉
みやま市消防本部	みやま	粕屋南部消防本部	粕屋南部
糸島市消防本部	糸島	宗像地区消防本部	宗像
苅田町消防本部	苅田	粕屋北部消防本部	粕屋北部
八女消防本部	八女	遠賀郡消防本部	遠賀
筑紫野太宰府消防本部	筑太		

(2) ゼッケンの縫合は、活動服の下図の位置とします。

ア 胸部ゼッケン位置

イ 背部ゼッケン位置



教 育 名	消防職員専科教育第18回危険物科
教 育 の 目 的	危険物施設の許認可、規制等に係る専門的知識を修得し、これらの知識を適切に活用して、必要な危険物行政事務を的確に処理できる職員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間	5ページを参照してください。
教 育 対 象 者	危険物事務担当者又は担当となる予定の者
教 育 訓 練 期 間	令和6年12月11日（水）～令和6年12月17日（火） （実日数5日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年12月11日（水）9時～9時30分 受付：宿泊棟1階エントランスホール 服装：制服又は公務員らしい服装
入 校 式 日 時	令和6年12月11日（水）10時～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 制服 <input type="checkbox"/> 制帽 <input type="checkbox"/> 黒短靴 <input type="checkbox"/> 白手袋 <input type="checkbox"/> 活動服 <input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 保安帽 <input type="checkbox"/> 革手袋 <input type="checkbox"/> 運動靴（屋内用・屋外用） <input type="checkbox"/> スポーツウェア <input type="checkbox"/> 上履用サンダル <input type="checkbox"/> 洗面用具類 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 筆記具類・ノート <input type="checkbox"/> 事例研究資料 <input type="checkbox"/> 消防関係法令集 ※必要に応じ防寒衣
修 了 式 日 時	令和6年12月17日（火）16時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
事 例 研 究 及 び 効 果 測 定	①事例研究 ○目的 業務上の事例や課題について、自発的研究意欲を高めるとともに、課題解決方策や討議要領を修得させるために行うものです。 ○研究テーマについて 研究テーマについては、入校許可通知の際に示しますので、その内容を事例研究資料「様式3」により作成し、指定された日までに送付してください。 ○作成要領について 資料作成にあたっては、法的根拠や背景、現状、問題点を把握し、その対応策等を具体的に記載してください。 ○その他 事例研究に必要な参考図書等は、入校前によく調べ、入校時に持参してください。 ※個人のノートPCの持ち込みは可能です。 事例発表については、Microsoft Power Point 2007 以降のバージョンを使用してください。 ②効果測定 入校期間中に効果測定を実施します。
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入校申込み要領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提出書類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）③事例研究資料（様式3）						
提出期間	令和6年10月11日（金）～令和6年11月11日（月） ※事例研究資料は別途指定						
入校者の決定	入校申込み受付の後、入校者を決定しその旨を通知します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。						
入校経費の納入方法	<p>入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。 また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フカカケンショウホクガクコウウシヨムカチョウ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p> </div>						
入校経費額 (円)	食費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	5,750	2,750	17,920	4,730	1,100	29,500	25,400
食費の内訳：朝食410円×3食 昼食520円×4食 校外研修弁当代670円×1食 夕食590円×3食							
入校決定通知後の入校取消し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

教 育 名	消防職員専科教育第41回救急科
教 育 の 目 的	救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な観察・判断能力、応急処置に必要な専門的スキルを修得し、救急隊員として活動できる職員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間	6 ページを参照してください。
教 育 対 象 者	救急隊員となる予定の者
教 育 訓 練 期 間	令和7年1月14日（火）～令和7年3月4日（火） （実日数34日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和7年1月14日（火）9時～9時30分 受付：体育館1階ピロティ 服装：制服又は公務員らしい服装
入 校 式 日 時	令和7年1月14日（火）10時～
携 行 品	□制服□制帽□黒短靴□白手袋□活動服□略帽□保安帽□革手袋□運動靴（屋内用・屋外用）□スポーツウエア□上履用サンダル□洗面用具類□着替え□印鑑□筆記具類・ノート□感染防護上衣（ディスプレイ可） ※必要に応じ防寒衣
終 了 式 日 時	令和7年3月4日（火）16時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
病 院 実 習 及 び 救 急 車 同 乗 実 習	①消防学校における講義終了後、「病院実習及び救急車同乗実習のガイドライン」（27ページ）に準拠し、各所属において実施してください。 ②消防学校長への報告書（様式5）は、所属において作成、実習実施結果報告書（様式5-1、5-2）にあつては、実習者本人が作成してください。（鉛筆不可） ※様式は28～30ページ
修 了 証 書 交 付	消防学校長への「病院実習及び救急車同乗実習」の結果報告が提出された後、実習内容を確認の上修了証書を交付します。（ <u>修了証書の日付は決裁日</u> ）
効 果 測 定	入校期間中に効果測定（筆記及び実技）を実施します。
そ の 他	自家用車乗り入れ可 駐車場所は屋外訓練場1

入 校 申 込 要 領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提 出 書 類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）						
提 出 期 間	令和6年10月11日（金）～令和6年11月14日（木）						
入 校 者 の 決 定	入校申込み受付の後、入校者を決定しその旨を通知します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。						
入 校 経 費 の 納 入 方 法	入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。 また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。						
	【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンシヨウホウガクシヨウムカチョウ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830						
入 校 経 費 額 (円)	食 費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合 計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	42,830	17,830	43,560	5,800	4,400	96,590	67,190
食費の内訳：朝食410円×25食 昼食520円×33食 校外研修弁当代670円×1食 夕食590円×25食							
入校決定通知後の入校取消し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

病院実習及び救急車同乗実習のガイドライン

病院実習及び救急車同乗実習にあつては、次の「Ⅰ 基本的事項」に基づくとともに、「Ⅱ 実習のガイドライン」に準拠し、実施するものとする。

Ⅰ 基本的事項

- ① 病院実習は、入校学生を派遣した各消防本部が単独でまたは近隣消防本部との共同により実習病院先を確保し、実施する。
実習先病院は、原則管内の病院から選定するものとし、救急救命士の病院実習に支障をきたさないよう配慮する。
また、救急車同乗実習にあつては、それぞれの所属消防本部において実施する。
- ② 実習の実施時期は、消防学校における救急教育終了後、遅くとも半年以内とする。
- ③ 実習実施後、その結果を「様式5」「様式5-1」及び「様式5-2」により、消防学校長あてに提出する。
- ④ 消防学校は、提出された報告書の実習内容を確認の上、救急教育の修了証を交付する。

Ⅱ 実習のガイドライン

- 1 病院実習について
 - (1) 実習先病院（選定基準）
原則として、救急告示病院で、救急患者の受け入れが多く行われているなど、実習効果が期待できる病院とする。
 - (2) 実習時間
隔日勤務者の一当務分とし、時間数にして12時間程度とする。
 - (3) 実習の内容
救急隊員が行う応急処置等に使用する機器の操作、データの判読、患者に対する処置の補助を行う。
なお、機器の操作等の実習については、下記の9項目とする。
 - ①聴診器の使用による心音・呼吸音の聴取
 - ②血圧計の使用による血圧の測定
 - ③心電計の使用による心拍動の観察および心電図伝送
 - ④鉗子・吸引器による咽頭・声門上部の異物の除去
 - ⑤経鼻エアウェイによる気道確保
 - ⑥パルスオキシメーターによる血中酸素飽和度の測定
 - ⑦ショックパンツの使用による血圧の保持および下肢の固定
 - ⑧自動式心マッサージ器の使用による体外式胸骨圧迫心マッサージ
 - ⑨特定在宅療法継続中の傷病者の処置の維持
- 2 救急車同乗実習について
 - (1) 実習場所
原則として、所属消防本部の救急隊で、出動件数が多いなど、実習効果が期待できる救急隊とする。
 - (2) 実習時間
隔日勤務者の一当務分とし、時間数にして16時間程度とする。
 - (3) 実習の内容
 - ア 救急隊が行う応急処置等の見学及び救急隊長の指示による補助等
 - イ 救急車に積載する各種機器の操作等

(様式5) 消防職員救急科

第 号
年 月 日

福岡県消防学校長 殿

所属長名

消防職員専科教育第 回救急科病院実習及び救急車同乗実習について

このことについて、別紙のとおり実施したので報告します。

病 院 実 習 実 施 結 果 報 告 書

実 習 者	教育種別	消防職員専科教育 第 回 救急科	学 籍 番 号	
	消防本部名			
	氏 名	(自署)		
実 習 先	病 院 名			
	所 在 地			
教育実施日時	年 月 日 () 時 分から 月 日 () 時 分まで			
	年 月 日 () 時 分から 月 日 () 時 分まで			
実 習 内 容 (具体的に記入すること。 特に患者に直接 行った行為は確 実に記入すること。)	時 間 経 過	実 施 項 目 と そ の 内 容		
備 考				

※ 実習者が作成してください。(鉛筆不可)

救急車同乗実習実施結果報告書

実習者	教育種別	消防職員専科教育 第 回 救急科		学籍番号	
	消防本部名				
	氏名	(自署)			
実習先	消防署(所)名				
	救急隊名				
教育実施日時	年 月 日 () 時 分から 月 日 () 時 分まで				
	年 月 日 () 時 分から 月 日 () 時 分まで				
実習内容 (具体的に記入すること。 特に患者に直接行った行為は確実に記入すること。)	時間経過	実施項目とその内容			
	出動件数				
	件				
備考					

※ 実習者が作成してください。(鉛筆不可)

教 育 名	消防職員幹部教育第17回初級幹部科（A）
教 育 の 目 的	消防士長に対し、分隊長（小隊長）として必要な業務管理や現場指揮要領を修得し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間 数	7ページを参照してください。
教 育 対 象 者	消防士長の階級にある者
教 育 訓 練 期 間	令和6年10月28日（月）～令和6年11月1日（金） （実日数5日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年10月28日（月）9時～9時30分 受付：宿泊棟1階エントランスホール 服装：制服又は公務員らしい服装
入 校 式 日 時	令和6年10月28日（月）10時～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 制服 <input type="checkbox"/> 制帽 <input type="checkbox"/> 黒短靴 <input type="checkbox"/> 白手袋 <input type="checkbox"/> 活動服 <input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 防火衣一式 <input type="checkbox"/> 安全帯 <input type="checkbox"/> 保安帽 <input type="checkbox"/> 革手袋 <input type="checkbox"/> 編上靴 <input type="checkbox"/> 運動靴（屋内用・屋外用） <input type="checkbox"/> スポーツウエア <input type="checkbox"/> 上履用サンダル <input type="checkbox"/> 洗面用具類 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 筆記具類・ノート <input type="checkbox"/> 水防服 ※必要に応じ防寒衣
修 了 式 日 時	令和6年11月1日（金）16時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入 校 申 込 み 要 領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提 出 書 類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）						
提 出 期 間	令和6年8月28日（水）～令和6年9月27日（金）						
入 校 者 の 決 定	入校申込み受付の後、入校者を決定しその旨を通知します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。						
入 校 経 費 の 納 入 方 法	入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。 また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。						
	【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フカカケンシヨウホウガッコウシヨムカチヨウ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830						
入 校 経 費 額 (円)	食 費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合 計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	6,600	2,600	16,620		1,100	24,320	19,220
		食費の内訳：朝食410円×4食 昼食520円×5食 夕食590円×4食					
入校決定通知後の 入 校 取 消 し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

教 育 名	消防職員幹部教育第53回初級幹部科（B）
教 育 の 目 的	消防司令補に対し、初級幹部として、旺盛な職務遂行の意欲にあふれ、消防行政の現状や課題を理解し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間	7ページを参照してください。
教 育 対 象 者	消防司令補の階級にある者
教 育 訓 練 期 間	令和6年11月18日（月）～令和6年11月29日（金） （実日数10日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年11月18日（月）9時～9時30分 受付：宿泊棟1階エントランスホール 服装：制服又は公務員らしい服装
入 校 式 日 時	令和6年11月18日（月）10時～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 制服 <input type="checkbox"/> 制帽 <input type="checkbox"/> 黒短靴 <input type="checkbox"/> 白手袋 <input type="checkbox"/> 活動服 <input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 保安帽 <input type="checkbox"/> 革手袋 <input type="checkbox"/> 編上靴 <input type="checkbox"/> 運動靴（屋内用・屋外用） <input type="checkbox"/> スポーツウェア <input type="checkbox"/> 上履用サンダル <input type="checkbox"/> 洗面用具類 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 筆記具類・ノート <input type="checkbox"/> 事例研究資料 <input type="checkbox"/> 消防関係法令集 <input type="checkbox"/> 水防服 ※必要に応じ防寒衣
修 了 式 日 時	令和6年11月29日（金）16時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
事 例 研 究	○目的 業務上の事例や課題について、自発的研究意欲を高めるとともに、課題解決方策や討議要領を修得させるために行うものです。 ○研究テーマについて 研究テーマについては、入校許可通知の際に示しますので、その内容を事例研究資料「様式3」により作成し、指定された日までに送付してください。 ○作成要領について 資料作成にあたっては、法的根拠や背景、現状、問題点を把握し、その対応策等を具体的に記載してください。 ○その他 事例研究に必要な参考図書等は、入校前によく調べ、入校時に持参してください。 ※個人のノートPCの持込は可能です。 事例発表については、Microsoft Power Point 2007以降のバージョンを使用してください。
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入 校 申 込 み 要 領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提 出 書 類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）③事例研究資料（様式3）						
提 出 期 間	令和6年9月18日（水）～令和6年10月18日（金） ※事例研究資料は別途指定						
入 校 者 の 決 定	入校申込み受付の後、入校者を決定しその旨を通知します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。						
入 校 経 費 の 納 入 方 法	入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。 また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。						
	<p>【振込先口座】</p> <p>福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227</p> <p>口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンショウホウガッコウシヨムカチョウ）</p> <p>所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p>						
入 校 経 費 額 (円)	食 費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合 計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	13,350	5,350	18,830	5,940	1,650	39,770	30,120
<p>食費の内訳：朝食410円×8食 昼食520円×9食 夕食590円×8食 校外研修弁当代670円×1食</p>							
入校決定通知後の 入 校 取 消 し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

教 育 名	消防職員幹部教育第15回上級幹部科
教 育 の 目 的	原則として消防司令長以上に対し、上級幹部にふさわしい業務管理、人事管理、危機管理に必要な知見を備え、かつ、職務遂行に必要な水準の判断力を有し、組織全体を円滑に管理運営できる職員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間	8ページを参照してください。
教 育 対 象 者	消防司令長以上の階級にある者。ただし、次長、署長、副署長、課長職にある消防司令の階級にある者も可とします。
教 育 訓 練 期 間	令和6年6月18日(火)～令和6年6月20日(木) (実日数3日間)
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年6月18日(火) 9時～9時30分 受付：宿泊棟1階エントランスホール 服装：制服又は公務員らしい服装
入 校 式 日 時	令和6年6月18日(火) 10時～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 制服 <input type="checkbox"/> 制帽 <input type="checkbox"/> 黒短靴 <input type="checkbox"/> 白手袋 <input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 運動靴(屋内用・屋外用) <input type="checkbox"/> スポーツウェア <input type="checkbox"/> 上履用サンダル <input type="checkbox"/> 洗面用具類 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 筆記具類 ・ノート <input type="checkbox"/> 事例研究資料 <input type="checkbox"/> 消防関係法令集
修 了 式 日 時	令和6年6月20日(木) 16時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
事 例 研 究	○目的 業務上の事例や課題について、自発的研究意欲を高めるとともに、課題解決方策や討議要領を修得させるために行うものです。 ○研究テーマについて 研究テーマについては、入校許可通知の際に示しますので、その内容を事例研究資料「様式3」により作成し、指定された日までに送付してください。 ○作成要領について 資料作成にあたっては、法的根拠や背景、現状、問題点を把握し、その対応策等を具体的に記載してください。 ○その他 事例研究に必要な参考図書等は、入校前によく調べ、入校時に持参してください。 ※個人のノートPCの持ち込みは可能です。 事例発表については、Microsoft Power Point 2007以降のバージョンを使用してください。
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入 校 申 込 み 要 領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提 出 書 類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）③事例研究資料（様式3）						
提 出 期 間	令和6年4月18日（木）～令和6年5月17日（金） ※事例研究資料は別途指定						
入 校 者 の 決 定	入校申込み受付の後、入校者を決定しその旨を通知します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。						
入 校 経 費 の 納 入 方 法	入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。 また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。						
	<p>【振込先口座】</p> <p>福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227</p> <p>口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フカカケンシヨウホクガクシヨウムカチヨウ）</p> <p>所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p>						
入 校 経 費 額 (円)	食 費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合 計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	3,560	1,560	11,930		1,100	16,590	13,490
	食費の内訳：朝食410円×2食 昼食520円×3食 夕食590円×2食						
入校決定通知後の 入 校 取 消 し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

教 育 名	消防職員特別教育第26回水難救助教育
教 育 の 目 的	潜水救助に必要な知識技術を修得するとともに、潜水士免許を取得し、多発する水難事故等に対し、迅速確実に対応できる職員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間 数	8ページを参照してください。
教 育 対 象 者	水難救助隊員又は水難救助隊員となる予定の者で、潜水士免許未取得者を対象とし、200m程度の泳力（クロール又は平泳ぎ）があり、高気圧作業安全衛生規則第41に該当しない者。
教 育 訓 練 期 間	令和6年9月25日（水）～令和6年10月8日（火） （実日数10日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年9月25日（水）9時～9時30分 受付：宿泊棟1階エントランスホール 服装：制服又は公務員らしい服装
入 校 式 日 時	令和6年9月25日（水）10時～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 制服 <input type="checkbox"/> 制帽 <input type="checkbox"/> 黒短靴 <input type="checkbox"/> 白手袋 <input type="checkbox"/> 活動服 <input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 運動靴（屋内用・屋外用） <input type="checkbox"/> スポーツウェア <input type="checkbox"/> 上履用サンダル <input type="checkbox"/> 洗面用具類 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 筆記具類・ノート <input type="checkbox"/> 水着 <input type="checkbox"/> 潜水用具一式 <input type="checkbox"/> ボンベ2本 <input type="checkbox"/> プール用サンダル <input type="checkbox"/> 電卓 <input type="checkbox"/> 定規 ※必要に応じ防寒衣
修 了 式 日 時	令和6年10月8日（火）16時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
そ の 他	自家用車乗り入れ可 潜水士免許の試験日により、教育訓練期間を変更する可能性があります。 なお、変更の際は各消防本部へ、別途お知らせします。

入 校 申 込 要 領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提 出 書 類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）						
提 出 期 間	令和6年7月25日（木）～令和6年8月23日（金）						
入 校 者 の 決 定	<p>入校申込み受付の後、入校者を決定しその旨を通知します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。</p>						
入 校 経 費 の 納 入 方 法	<p>入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。 また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。</p>						
	<p>【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンショウホウガッコウシヨムカチョウ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p>						
入 校 経 費 額 (円)	食 費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合 計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	12,350	5,350	42,030	9,900	1,650	65,930	57,280
<p>食費の内訳：朝食410円×7食 昼食520円×9食 校外研修弁当代670円×1食 夕食590円×7食</p>							
入校決定通知後の 入 校 取 消 し	<p>入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。</p>						

教 育 名	消防職員特別教育第16回はしご自動車等教育
教 育 の 目 的	はしご自動車等の操作員として必要かつ基本的な安全知識、取扱操作技術等を修得し、はしご自動車等の安全運行ができる職員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間 数	8ページを参照してください。
教 育 対 象 者	はしご自動車等の業務従事者又は従事予定者の者
教 育 訓 練 期 間	令和6年11月12日（火）～令和6年11月15日（金） （実日数4日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年11月12日（火）9時～9時30分 受付：宿泊棟1階エントランスホール 服装：制服又は公務員らしい服装
入 校 式 日 時	令和6年11月12日（火）10時～
携 行 品	□制服□制帽□黒短靴□白手袋□活動服□略帽□安全帯□警笛□保安帽 □革手袋□編上靴□運動靴（屋内用・屋外用）□スポーツウエア□上履 用サンダル□洗面用具類□着替え□印鑑□筆記具類・ノート□水防服 ※必要に応じ防寒衣
修 了 式 日 時	令和6年11月15日（金）16時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入校申込み要領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提出書類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）						
提出期間	令和6年9月12日（木）～令和6年10月11日（金）						
入校者の決定	入校申込み受付の後、入校者を決定しその旨を通知します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。						
入校経費の納入方法	<p>入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。 また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンシヨウボウガクシヨウカチョウ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p> </div>						
入校経費額 (円)	食費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	5,230	2,230	12,010	6,940	1,100	25,280	21,180
食費の内訳：朝食410円×3食 昼食520円×3食 校外研修弁当代670円×1食 夕食590円×3食							
入校決定通知後の入校取消し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

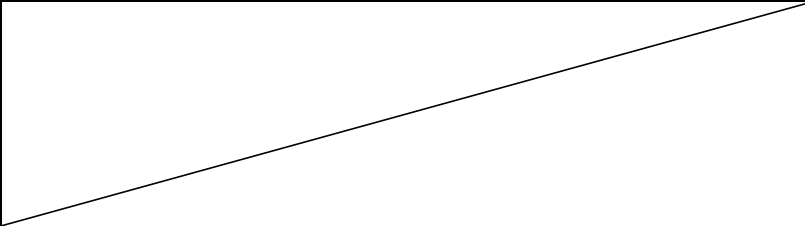
教 育 名	消防職員特別教育消防操法指導員研修
教 育 の 目 的	消防ポンプ操法の指導員として必要な知識技術を修得し、消防団員に対し、効果的にポンプ操法の指導が行える職員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間 数	9 ページを参照してください。
教 育 対 象 者	消防操法の指導員となる者で各消防署 2 名までとします。ただし、署数（分署含まない）が 1 つの本部は 3 名までとします。
教 育 訓 練 期 間	令和 6 年 5 月 2 2 日（水）～令和 6 年 5 月 2 3 日（木） （実日数 2 日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和 6 年 5 月 2 2 日（水） 9 時～9 時 3 0 分 受付：管理棟 1 階エントランスホール 服装：活動服・略帽・運動靴
携 行 品	<input type="checkbox"/> 活動服 <input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 保安帽 <input type="checkbox"/> 革手袋 <input type="checkbox"/> 運動靴（屋内用・屋外用） <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 筆記具類・ノート <input type="checkbox"/> 水防服 <input type="checkbox"/> 昼食
そ の 他	自家用車乗り入れ可 2 日目の研修開始は 1 0 時からとします。

入 校 申 込 要 領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提 出 書 類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）						
提 出 期 間	令和6年3月22日（金）～令和6年4月22日（月）						
入 校 者 の 決 定	<p>入校申込み受付時点で、原則として入校を許可し、その通知を省略します。</p> <p>なお、入校に際して、研修に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。</p>						
入 校 経 費 の 納 入 方 法	<p>入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。</p> <p>また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。</p> <p>※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【振込先口座】</p> <p>福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227</p> <p>口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンシヨウホウカ`ッコウシヨムカチヨウ）</p> <p>所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p> </div>						
入 校 経 費 額 (円)	食 費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合 計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
			1,060			1,060	

教 育 名	消防職員特別教育第18回警防実務研修
教 育 の 目 的	消防士及び消防副士長に対し、火災防ぎょを中心とした実科訓練を実施することにより、隊員としての防ぎょ活動及び機関運用能力を備えた職員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間 数	9ページを参照してください。
教 育 対 象 者	消防士及び消防副士長の階級にある者
教 育 訓 練 期 間	令和6年10月16日（水）～令和6年10月22日（火） （実日数5日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年10月16日（水）9時～9時30分 受付：宿泊棟1階エントランスホール 服装：制服又は公務員らしい服装
入 校 式 日 時	令和6年10月16日（水）10時～
携 行 品	□制服□制帽□黒短靴□白手袋□活動服□略帽□防火衣一式□安全帯 □保安帽□革手袋□編上靴□運動靴（屋内用・屋外用）□スポーツウエア□上履用サンダル□洗面用具類□着替え□印鑑□筆記具類・ノート□水防服 ※必要に応じ防寒衣
修 了 式 日 時	令和6年10月22日（火）16時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入校申込み要領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提出書類	①入校申込書（様式1）②身上書（様式2）						
提出期間	令和6年8月16日（金）～令和6年9月13日（金）						
入校者の決定	入校申込み受付の後、入校者を決定しその旨を通知します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。						
入校経費の納入方法	入校者の決定通知を受けた後、下記金額を入校前日までに指定口座に振り込んでください。 また、「請求書」が必要な場合は、各消防本部作成の請求書及び宛名を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。						
	<p>【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンショウホウカクツクウシヨムカチヨウ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p>						
入校経費額 (円)	食費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	5,600	2,600	13,820		1,100	20,520	16,420
食費の内訳：朝食410円×3食 昼食520円×5食 夕食590円×3食							
入校決定通知後の入校取消し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

教 育 名	消防団員教育基礎教育
教 育 の 目 的	任命後経験年数の短い消防団員に対して行う基礎的教育訓練をいい、消防団員として基本的な知識技術を修得し、効果的な消防活動ができる消防団員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間 数	10ページを参照してください。
教 育 対 象 者	新入団員又は未修了者で実務経験が3年未満の者
実 施 日	福岡・筑後ブロック 令和6年4月14日(日) (実日数1日間) 北九州・筑豊ブロック 令和6年4月21日(日)
入校受付時間、場所及び服装	実施日の9時～9時20分 受付：管理棟1階エントランスホール 服装：活動服 ※受付は、市町村毎に代表者が行ってください。
入 校 式 日 時	福岡・筑後ブロック 令和6年4月14日(日) 9時30分～ 北九州・筑豊ブロック 令和6年4月21日(日) 9時30分～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 革手袋又は軍手 <input type="checkbox"/> 保安帽 <input type="checkbox"/> 運動靴(屋内用・屋外用) <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 筆記具類・ノート <input type="checkbox"/> 雨衣(雨天時のみ) <input type="checkbox"/> 昼食
修 了 式 日 時	福岡・筑後ブロック 令和6年4月14日(日) 15時30分～ 北九州・筑豊ブロック 令和6年4月21日(日) 15時30分～
そ の 他	教育ではホースの搬送及び訓練礼式を行います。 各市町村消防団事務担当者及び引率者にあつては、既往症や当日の体調について十分な確認をお願いします。 自家用車乗り入れ可 ※駐車台数に制限があるので、出来るだけ市町村のバス又は乗合いで登校ください。

入校申込み要領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。
提出書類	①入校申込書（様式4）	
提出期間	福岡・筑後ブロック 令和6年2月14日（水）～令和6年3月14日（木） 北九州・筑豊ブロック 令和6年2月21日（水）～令和6年3月21日（木）	
入校者の決定	入校申込み受付時点で、原則として入校を許可し、その通知を省略します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。	
入校経費の納入方法	入校人員確定後（教育修了後）、下記金額を指定口座に速やかに振り込んでください。現金での支払いはできません。 また、「請求書」が必要な場合は、各市町村作成の請求書又は各消防本部作成の請求書並びに宛先を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。	
入校経費額 (円)	図書教材費	
	2,420	
入校申込み後の入校取消し	入校申込み後に入校を取り消した場合は、購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。	

教 育 名	消防団員幹部教育第21回初級幹部科
教 育 の 目 的	班長に対し、火災防ぎょ活動、現場指揮要領を修得するとともに、自然災害の防災対策に関する知識と住民に対する防災指導要領を学び、上司を補佐し、効果的な消防活動を指導できる初級幹部団員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間 数	11ページを参照してください。
教 育 対 象 者	班長の階級にある者（予定人員を超えた場合は調整させていただきます）
教 育 訓 練 期 間	令和6年11月8日（金）～令和6年11月9日（土） （実日数2日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年11月8日（金）9時～9時30分 受付：宿泊棟1階エントランスホール 服装：活動服
入 校 式 日 時	令和6年11月8日（金）10時～
携 行 品	□略帽□保安帽□革手袋□編上靴又はゴム長靴（いずれも鉄板入り） □運動靴（屋内用・屋外用）□スポーツウエア□上履き用サンダル □洗面用具類（アメニティグッズ）□着替え□筆記具類・ノート □雨衣（雨天時のみ） ※必要に応じ防寒衣
修 了 式 日 時	令和6年11月9日（土）15時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入 校 申 込 要 領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提 出 書 類	①入校申込書（様式4）						
提 出 期 間	令和6年9月6日（金）～令和6年10月8日（火）						
入 校 者 の 決 定	<p>入校申込み受付時点で、原則として入校を許可し、その通知を省略します。</p> <p>なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。</p>						
入 校 経 費 の 納 入 方 法	<p>入校人員確定後（教育修了後）、下記金額を指定口座に速やかに振り込んでください。現金での支払いはできません。</p> <p>また、「請求書」が必要な場合は、各市町村作成の請求書又は各消防本部作成の請求書並びに宛先を明記した返信用封筒を送付してください。</p> <p>※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。</p>						
	<p>【振込先口座】</p> <p>福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227</p> <p>口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンシヨウホウカクコウシヨムカチヨウ）</p> <p>所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p>						
入 校 経 費 額 (円)	食 費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合 計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	2,040	1,040	3,680		1,100	6,820	4,720
<p>食費の内訳：朝食410円×1食 昼食520円×2食 夕食590円×1食</p>							
入校決定通知後の入校取消し	<p>入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。</p>						

教 育 名	消防団員幹部教育指揮幹部科第10回現場指揮課程
教 育 の 目 的	原則として部長に対し、災害時における火災防ぎよ、水災活動、救助救命、避難誘導、情報収集・伝達に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識並びに技術を修得するとともに、自主防災組織に対して防災指導を行える指揮者を養成する。
教 科 目 及 び 教 時 間 数	11ページを参照してください。
教 育 対 象 者	部長の階級にある者。ただし、部長の階級制度を設けていない消防団にあっては副分団長又は班長の階級にある者も可とします。
教 育 訓 練 期 間	令和6年10月11日（金）～令和6年10月12日（土） （実日数2日間）
入校受付日時、場所及び服装	令和6年10月11日（金）9時～9時30分 受付：宿泊棟1階エントランスホール 服装：活動服
入 校 式 日 時	令和6年10月11日（金）10時～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 保安帽 <input type="checkbox"/> 革手袋 <input type="checkbox"/> 編上靴又はゴム長靴（いずれも鉄板入り） <input type="checkbox"/> 運動靴（屋内用・屋外用） <input type="checkbox"/> スポーツウエア <input type="checkbox"/> 上履き用サンダル <input type="checkbox"/> 洗面用具類（アメニティグッズ） <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 筆記具類・ノート <input type="checkbox"/> 雨衣（雨天時のみ） ※必要に応じ防寒衣
修 了 式 日 時	令和6年10月12日（土）15時～
通 学 の 可 否	可 ※登校は8時45分までとします。
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入 校 申 込 み 要 領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提 出 書 類	①入校申込書（様式4）						
提 出 期 間	令和6年8月9日（金）～令和6年9月11日（水）						
入 校 者 の 決 定	<p>入校申込み受付時点で、原則として入校を許可し、その通知を省略します。</p> <p>なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。</p>						
入 校 経 費 の 納 入 方 法	<p>入校人員確定後（教育修了後）、下記金額を指定口座に速やかに振り込んでください。現金での支払いはできません。</p> <p>また、「請求書」が必要な場合は、各市町村作成の請求書又は各消防本部作成の請求書並びに宛先を明記した返信用封筒を送付してください。</p> <p>※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンショウホウカクコウシヨムカチヨリ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p> </div>						
入 校 経 費 額 (円)	食 費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合 計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
	2,040	1,040	6,650	/	1,100	9,790	7,690
<p>食費の内訳：朝食410円×1食 昼食520円×2食 夕食590円×1食</p>							
入 校 決 定 通 知 後 の 入 校 取 消 し	<p>入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。</p>						

教 育 名	消防団員幹部教育指揮幹部科第10回分団指揮課程
教 育 の 目 的	分団長又は副分団長に対し、各種災害発生時における分団の管理運営及び効果的な現場活動の在り方を深く理解する指揮者を養成する。
教 科 目 及 び 時 間	11ページを参照してください。
教 育 対 象 者	分団長及び副分団長の階級にある者
実 施 日	令和6年10月24日(木) (実日数1日間)
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年10月24日(木) 9時～9時30分 受付：管理棟1階エントランスホール 服装：活動服
入 校 式 日 時	令和6年10月24日(木) 10時～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 運動靴(屋内用) <input type="checkbox"/> 筆記具類・ノート ※必要に応じ防寒衣
修 了 式 日 時	令和6年10月24日(木) 16時～
事前学習について	<p>標記教育については、事前学習(予習)及び当校での教育をもって修了とすることとなりますので、<u>事前学習を必ず行って入校してください</u>。また、入校の際はこれについての効果確認を実施します。</p> <p>1 テキストについて 「分団指揮課程事前学習教材(PDF)」 総務省消防庁ホームページより、下記のURLを入力し、ダウンロードして、印刷後入校予定者へ配付してください。 https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/pdf/bundanShikiGakusyuu.pdf</p> <p>※ インターネットの閲覧制限があるパソコンでは、閲覧できない場合があります。</p> <p>2 事前学習(予習)内容 (1) 第1章第2節 組織制度(4～10ページ) (2) 第2章 防災(17～20ページ)</p> <p>3 その他 入校時に分団指揮課程事前学習教材(紙)を持参してください。</p>
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入校申込み要領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提出書類	①入校申込書（様式4）						
提出期間	令和6年8月23日（金）～令和6年9月24日（火）						
入校者の決定	<p>入校申込み受付時点で、原則として入校を許可し、その通知を省略します。</p> <p>なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。</p>						
入校経費の納入方法	<p>入校人員確定後（教育修了後）、下記金額を指定口座に速やかに振り込んでください。現金での支払いはできません。</p> <p>また、「請求書」が必要な場合は、各市町村作成の請求書又は各消防本部作成の請求書並びに宛先を明記した返信用封筒を送付してください。</p> <p>※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。</p>						
	<p>【振込先口座】</p> <p>福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227</p> <p>口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンシヨウホウガッコウシヨムカチヨウ）</p> <p>所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p>						
入校経費額 (円)	食費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
		520	5,890				6,410
食費の内訳：昼食520円							
入校決定通知後の入校取消し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

教 育 名	消防団員幹部教育第 2 1 回上級幹部科
教 育 の 目 的	団長及び副団長に対し、消防団組織の運営管理及び自然災害や大規模災害等の対応を修得するとともに、効果的な消防団活動を管理することができる上級幹部団員を養成する。
教 科 目 及 び 時 間 数	1 2 ページを参照してください。
教 育 対 象 者	団長及び副団長の階級にある者
実 施 日	令和 6 年 6 月 1 2 日（水） （実日数 1 日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和 6 年 6 月 1 2 日（水） 9 時～ 9 時 3 0 分 受付：管理棟 1 階エントランスホール 服装：活動服
入 校 式 日 時	令和 6 年 6 月 1 2 日（水） 1 0 時～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 運動靴（屋内用） <input type="checkbox"/> 筆記具類・ノート
修 了 式 日 時	令和 6 年 6 月 1 2 日（水） 1 6 時～
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入 校 申 込 要 領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提 出 書 類	①入校申込書（様式4）						
提 出 期 間	令和6年4月12日（金）～令和6年5月10日（金）						
入 校 者 の 決 定	<p>入校申込み受付時点で、原則として入校を許可し、その通知を省略します。</p> <p>なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。</p>						
入 校 経 費 の 納 入 方 法	<p>入校人員確定後（教育修了後）、下記金額を指定口座に速やかに振り込んでください。現金での支払いはできません。</p> <p>また、「請求書」が必要な場合は、各市町村作成の請求書又は各消防本部作成の請求書並びに宛先を明記した返信用封筒を送付してください。</p> <p>※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。</p> <p>【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンシヨウホウガクヤクシヨムカチョウ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p>						
入 校 経 費 額 (円)	食 費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合 計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
		520	4,240				4,760
食費の内訳：昼食520円							
入校決定通知後の 入 校 取 消 し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

教 育 名	消防団員特別教育第15回女性消防団員研修
教 育 の 目 的	女性消防団員に対し、防火防災に関する基本的知識及び初期消火・救命処置技術を修得し、地域の安全・安心に寄与できる団員を養成する。
教 科 目 及 び 教 時 間	12ページを参照してください。
教 育 対 象 者	女性消防団員
実 施 日	令和6年9月13日（金） （実日数1日間）
入校受付日時、場 所 及 び 服 装	令和6年9月13日（金）9時～9時30分 受付：管理棟1階エントランスホール 服装：活動服
入 校 式 日 時	令和6年9月13日（金）10時～
携 行 品	<input type="checkbox"/> 略帽 <input type="checkbox"/> 保安帽 <input type="checkbox"/> 革手袋 <input type="checkbox"/> 運動靴（屋内用・屋外用） <input type="checkbox"/> 筆記具類・ ノート <input type="checkbox"/> 雨衣（雨天時のみ）
修 了 式 日 時	令和6年9月13日（金）16時～
そ の 他	自家用車乗り入れ可

入校申込み要領		次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入をしてください。					
提出書類	①入校申込書（様式4）						
提出期間	令和6年7月12日（金）～令和6年8月13日（火）						
入校者の決定	入校申込み受付時点で、原則として入校を許可し、その通知を省略します。 なお、入校に際して、研修に支障がある疾病、既往症がある者については、入校を認めないことがあります。						
入校経費の納入方法	入校人員確定後（教育修了後）、下記金額を指定口座に速やかに振り込んでください。現金での支払いはできません。 また、「請求書」が必要な場合は、各市町村作成の請求書又は各消防本部作成の請求書並びに宛先を明記した返信用封筒を送付してください。 ※請求書の様式は、65ページを参考に作成してください。						
	<p>【振込先口座】</p> <p>福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227</p> <p>口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンシヨウホウガクシヨウムカチヨウ）</p> <p>所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830</p>						
入校経費額 (円)	食費		図書教材費	調査研究費	共益費 (宿泊者のみ)	合計	
	宿泊者	通学者				宿泊者	通学者
		520	3,350				3,870
食費の内訳：昼食520円							
入校決定通知後の入校取消し	入校決定後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。						

教 育 名	消防団員特別教育特別研修	
教 育 の 内 容	入校予定の消防団と協議の上、教科目及び時間数を決定します。	
教 育 対 象	特定の目的で入校を希望する消防団	
実 施 日	協議	
実 施 場 所	原則、現地研修 ※実施場所は消防団で確保してください	
入 校 申 込 要 領	次の要領で行ってください。	
協 議 の 時 期	入校（実施）予定日の3か月前までに事前協議を行ってください。	
提 出 書 類 等	協議	
入 校 経 費 額	所要額	

教 育 名	自衛消防隊教育					
教 育 の 内 容	県内の各事業所等内で編成された自衛消防隊及び自衛防災要員に対し、消防防災活動に必要な知識技術を修得するための教育訓練を行う。					
教 育 対 象 者	自衛消防隊で管理監督的立場にある者					
実 施 日	第1回（原則として店舗、病院等の特定防火対象物） 令和6年12月3日（火） 1日間					
	第2回（原則として危険物施設又は工場等の非特定防火対象物） 令和6年12月5日（木） 1日間					
実 施 場 所	福岡県消防学校 〒820-0301 嘉麻市牛隈1794番地					
入校受付時間、場 所及び服装	実施日の9時～9時30分 受付：管理棟1階エントランスホール 服装：作業服（訓練が実施できる服装）					
携 行 品	□帽子□革手袋又は軍手□ヘルメット□運動靴（屋内用・屋外用） □着替え・タオル□筆記具類・ノート□雨衣（雨天時のみ） ※必要に応じ防寒衣					
教 育 内 容 及 び 時 間 割	9：00～ 9：30	10：00～ 10：10	10：10～ 11：50	11：50～ 13：00	13：00～15：50	16：00～
	受付	入校式 オリエンテーション	防火管理 （講義）	昼食 休憩	火災対応訓練 （実技訓練）	修了式
そ の 他	自家用車の乗り入れは可能です。 昼食は消防学校で準備します。（持参不要）					
入 校 申 込 み 要 領	入校希望がある場合は、次の要領で、必要書類の提出及び入校経費の納入を行ってください。					
提 出 書 類 及 び 提 出 先	64ページの入校申込書（様式7）を、案内のあった消防本部（局） 又は消防署へ提出してください。					
消 防 学 校 へ の 提 出 期 間	第1回 令和6年10月3日（木）～令和6年11月1日（金） 第2回 令和6年10月4日（金）～令和6年11月5日（火）					
入 校 者 の 定	入校申込み受付時点で、原則として入校を許可し、その通知を省略します。 なお、入校に際して、教育に支障がある疾病、既往症がある者については、 入校を認めないことがあります。					
入 校 経 費 の 納 入 方 法	原則振込とし、後払いも可能とします。その際は教育終了後、おおむね2週間 以内により下記金額を指定口座に振り込んでください。 やむを得ず現金を持参される場合はお釣りのないようになしてください。 また、「請求書」が必要な場合は、請求書を作成の上、返信用封筒を送付し てください。※請求書の様式は、65ページを参考にしてください。					
	【振込先口座】 福岡銀行大隈支店 普通預金口座 863227 口座名義人：福岡県消防学校庶務課長（フクオカケンシヨウホウガクコウシヨウムカチョウ） 所在地：嘉麻市牛隈1794番地 ☎0948-57-2830					
入 校 経 費 額 (円)	食 費	図書教材費		合 計		
	520	5,700		6,220		
入 校 申 込 み 後 の 入 校 取 消 し	入校申込み後に入校を取り消した場合は、発注済みの食材や購入済みの 図書等があるため、全額の払い戻しができない場合があります。					

教 育 名	○消防防災関係機関研修	
教 育 の 内 容	入校予定の団体（機関）と協議の上、教科目及び時間数を決定します。	
教 育 対 象	特定の目的で入校を希望する団体（機関）	
実 施 日	協議	
実 施 場 所	協議	
入 校 申 込 み 要 領	次の要領で行ってください。	
協 議 の 時 期	入校（実施）予定日の3か月前までに協議を行ってください。	
提 出 書 類 等	協議	
入 校 経 費 額	所要額	

教 育 名	○地域防災力向上研修 ○防災士研修 ○少年消防・女性防火クラブ教育 ○消防・防災体験型研修	
教 育 の 内 容	入校予定の団体（機関）と協議の上、教科目及び時間数を決定します。	
実 施 日	協議	
実 施 場 所	協議	
入 校 申 込 み 要 領	次の要領で行ってください。	
協 議 の 時 期	入校（実施）予定日の3か月前までに協議を行ってください。	
提 出 書 類 等	協議	
入 校 経 費 額	所要額	

1 0 共 通 様 式

福岡県消防学校長 殿

任命権者

入 校 申 込 書

次の者を福岡県消防学校消防職員 教育 科・研修・講習（第 回）
に入校させたいので申し込みます。

階 級	ふ り が な 氏 名	年 齢 別 性 別	係 別 (役 職 名)	採 用 年 月 日	宿 泊 通 学 の 別
				現階級昇任年	
		歳 男・女			宿泊・通学
		歳 男・女			宿泊・通学
		歳 男・女			宿泊・通学
		歳 男・女			宿泊・通学
		歳 男・女			宿泊・通学
		歳 男・女			宿泊・通学
		歳 男・女			宿泊・通学
		歳 男・女			宿泊・通学

- 注1 年齢については、入校日現在の年齢とする。
- 注2 消防副士長以上の階級にある者は、「現階級昇任年」を記入してください。
- 注3 初任教育以外の課程は、宿泊・通学の欄の該当する方に○印を付けてください。

消防本部担当者	課	係	氏名	電話番号
---------	---	---	----	------

(様式2) 消防職員用

身 上 書

本 部 名				写 真 (上半身無帽) 縦4cm×横3cm 入校日の6ヶ月以 内に撮影したもの ※縦横の倍率を変 更しないこと
ふりがな 氏 名		階級		
生年月日	年 月 日	年齢	歳	
現 住 所	〒 〇〇〇〇 〇〇 〇〇			
最終学歴 (注1)	(〇〇 科)			
採用年月日	年 月 日			
消防学校 入校経歴	年 月 日	第 〇 回初任教育卒業	年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	
資格技能	年 月 日		年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	
	年 月 日		年 月 日	
業 務 別 従事状況 (注2)	業 務 種 別	経 験 の 有 無	現在従事しているか	経 験 年 数
	総 務 関 係 事 務	ある・ない	いる・いない	年 月
	予 防 関 係 事 務	ある・ない	いる・いない	年 月
	警防隊員(含警防事務)	ある・ない	いる・いない	年 月
	救助隊員(含救助事務)	ある・ない	いる・いない	年 月
	救急隊員(含救急事務)	ある・ない	いる・いない	年 月
	水 難 救 助 隊 員	ある・ない	いる・いない	年 月

注1 最終学歴は、初任教育のみ記載してください。

注2 業務別従事状況欄は、全項目について「ある・ない」、「いる・いない」の該当する方を○で囲んでください。
また、各業務種別で重複する場合の経験年数は、それぞれに記載してください。

上記記載のとおり相違ないことを証明する。

年 月 日

任命権者

福岡県消防学校長 殿

任命権者

入 校 申 込 書

次の者を福岡県消防学校消防団員 教育 科 課程・研修（第 回）
に入校させたいので申し込みます。

階 級	ふ り が な 氏 名	年 齢 性 別	勤 続 年 数	任 命 年 月 日	宿 泊 通 学 の 別
		歳 男 ・ 女			宿 泊 ・ 通 学
		歳 男 ・ 女			宿 泊 ・ 通 学
		歳 男 ・ 女			宿 泊 ・ 通 学
		歳 男 ・ 女			宿 泊 ・ 通 学
		歳 男 ・ 女			宿 泊 ・ 通 学
		歳 男 ・ 女			宿 泊 ・ 通 学
		歳 男 ・ 女			宿 泊 ・ 通 学

注1 年齢については、入校日現在の年齢とする。

注2 初級幹部科、現場指揮課程及び消防操法研修は、宿泊・通学の欄の該当する方に○印を付けてください。

注3 再入団の場合、勤続年数は通算し、任命年月日は最終任命日を記載すること。

市町村担当者	課	係	氏名	電話番号
--------	---	---	----	------

福岡県消防学校長 殿

事業所名
所属長名

入 校 申 込 書

次の者を福岡県消防学校自衛消防隊教育（第 回）に入校させたいので申し込みます。

ふりがな氏名	年齢性別	事業所名及び所在地電話番号	事業所での係名	施行令別表項別
	歳 男・女			項
	歳 男・女			項
	歳 男・女			項
	歳 男・女			項
	歳 男・女			項
	歳 男・女			項
	歳 男・女			項
	歳 男・女			項

注1 年齢については、入校日現在の年齢とする。

消防本部担当者	課	係	氏名	電話番号
---------	---	---	----	------

請 求 書

金額		千万	百万	十万	万	千	百	十	円

(頭部に¥を記入)

上記の金額を請求します。

年 月 日

(請求先)

〇 〇 市 町 村 長 (団 長)													
					〒	8	2	0	—	0	3	0	1
住 所						嘉麻市牛隈1794番地							
団体名						福岡県消防学校							

代表者 校長 印

TEL 0948-57-2830

件 名			
消防団員幹部教育〇〇幹部科			
			〇 名分入校経費として
・食費	円 ×	人 =	円
・図書教材費	円 ×	人 =	円
・共益費	円 ×	人 =	円
合計	円 ×	人 =	円

支払方法

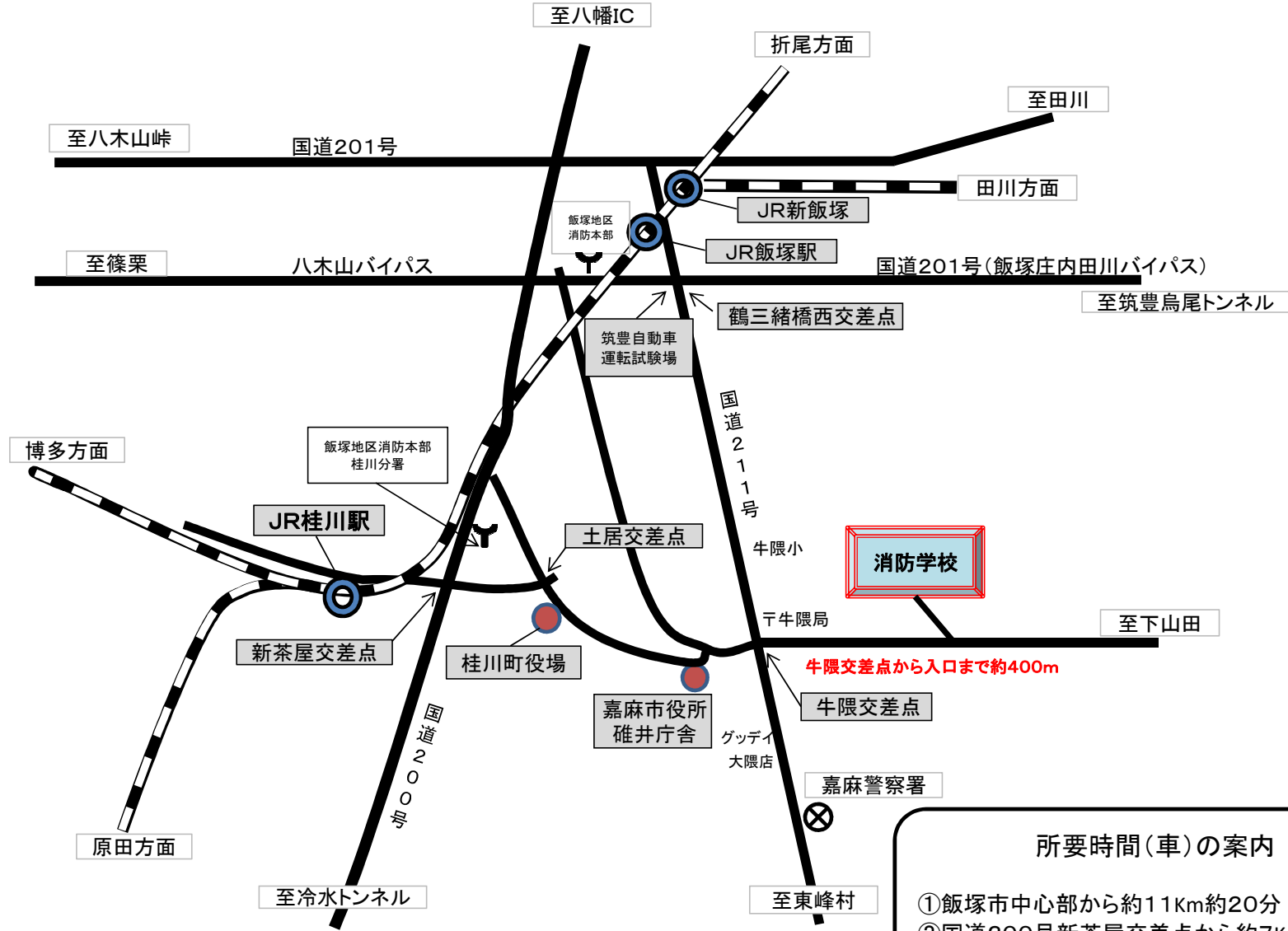
1 : 口座振込

口座振替は、下記口座に納付してください。

金融機関名	福岡 <u>銀行</u> ・信用金庫 信用組合・農協	大隈 <u>支店</u> 支所																
預金種別	① : 普通	2 : 当座 3 : 貯蓄																
口座番号	<table border="1"><tr><td></td><td>8</td><td>6</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>7</td></tr></table>		8	6	3	2	2	7	(右づめでお願いします。)									
	8	6	3	2	2	7												
フリガナ	フ	ク	オ	カ	ケ	ン	シ	ヨ	ウ	ホ	ウ	カ	ツ	コ	ウ	シ	ヨ	ム
口座名義	カ	チ	ヨ	ウ														
(通帳のとおりフリガナも記入してください。)	(漢字でご記入ください。)																	
	福岡県消防学校 庶務課長																	

1 1 ア ク セ ス

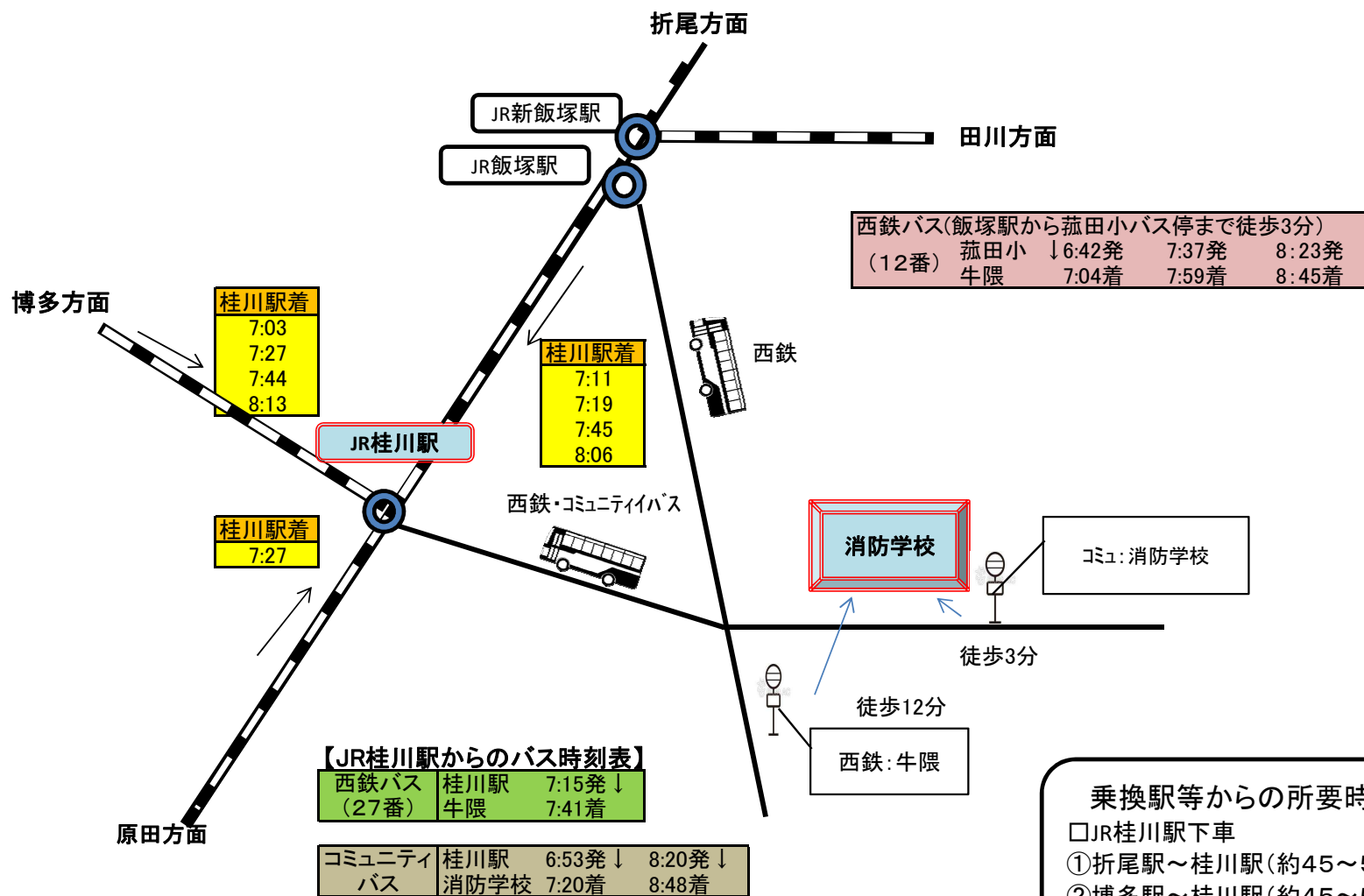
■ 消防学校案内図



所要時間(車)の案内

- ① 飯塚市中心部から約11Km約20分
- ② 国道200号新茶屋交差点から約7Km約15分
- ※ 牛隈交差点から学校入口まで約440m

■消防学校までの公共交通機関経路図
(ダイヤ改正にはご注意ください)



乗換駅等からの所要時間の案内

□JR桂川駅下車

①折尾駅～桂川駅(約45～55分)

②博多駅～桂川駅(約45～50分)

③原田駅～桂川駅(約30分)

(注)時刻は令和5年12月1日現在

校 訓

- 一 我ら 消防精神の涵養に努める
- 一 我ら 消防の学術修得に努める
- 一 我ら 心身の鍛練に努める
- 一 我ら 近代消防の開発に努める
- 一 我ら 消防の団結強化に努める